

手話言語の国際デー (International Day of Sign Language)

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。手話言語の国際デーは、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国社会全体で手話言語についての意識高める手段を講じることを促進するとされています。また、9月23日は1951年に世界ろう連盟(World Federation of the Deaf:WFD)が設立された日です。

毎年、テーマが決められており、2025年のテーマは「手話言語権は人権だ！(英語原文:No Human Rights Without Sign Language Rights)」です。

また2022年より、WFDから働きかけで、世界各地で、WFDのロゴの色である「世界平和」を表す青色(原則として#007EC4)にライトアップを行っています。連盟としても毎年、全国各地で青色にライトアップを働きかけるとともに、「手話言語の国際デー」の記念イベントを実施しています。2024年は、47都道府県371自治体513箇所にてブルーライトアップを行いました。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

国際ろう者週間 (International Week of Deaf People)

「国際ろう者週間」はWFD主導のもと、1958年9月にイタリアのローマで始まりました。WFDの最初の世界会議が開催された月を記念して、9月の最後の1週間(月曜日から日曜日まで)を「国際ろう者週間」としています。

毎年、世界中のろう者の家族・手話言語通訳者・仲間たちなどを含む、ろうコミュニティでは、各国の政府や行政をはじめ市民に向けたアピールに取り組むとともに、さまざまな関係者が関わっていくことを歓迎しています。

また、この国際ろう者週間では毎年、1日ごとに異なるテーマを定めています。詳しくはプロジェクト公式ページをご覧ください。



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE

●問合わせ先 一般財団法人全日本ろうあ連盟 国際委員会

Mail jfd-km@jfd.or.jp

TEL 03-6302-1430 FAX 03-6302-1449